

令和元年度 はつらつクラブにおける市民向け在宅療養講座

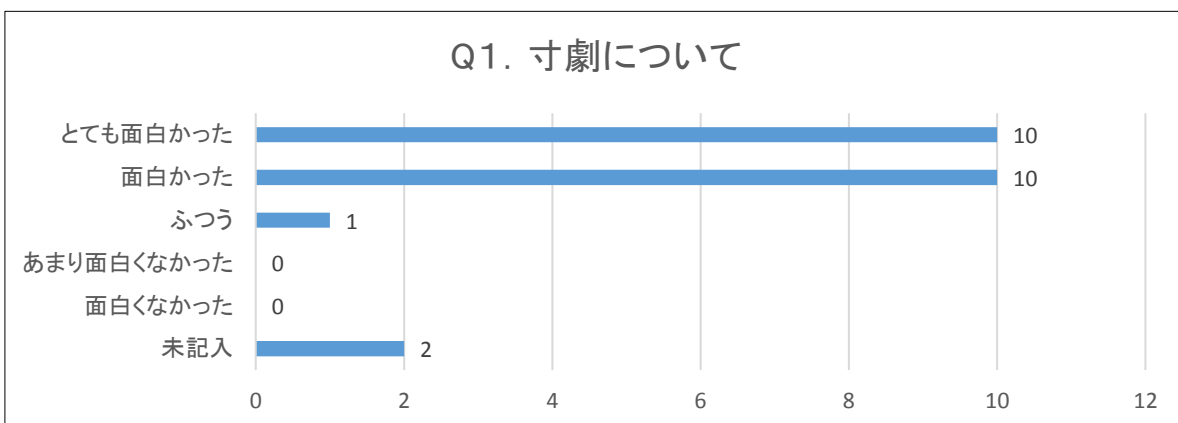
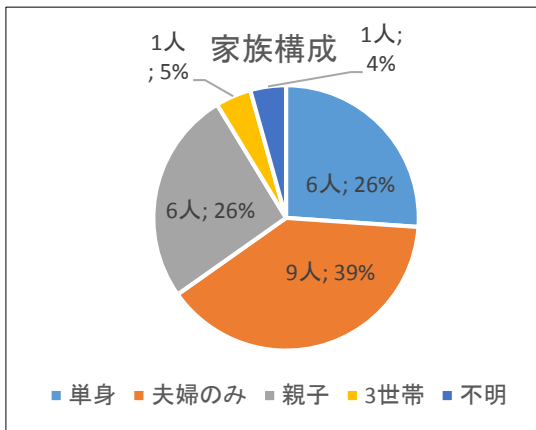
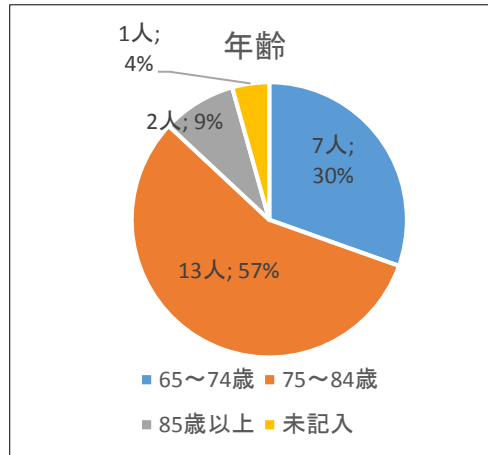
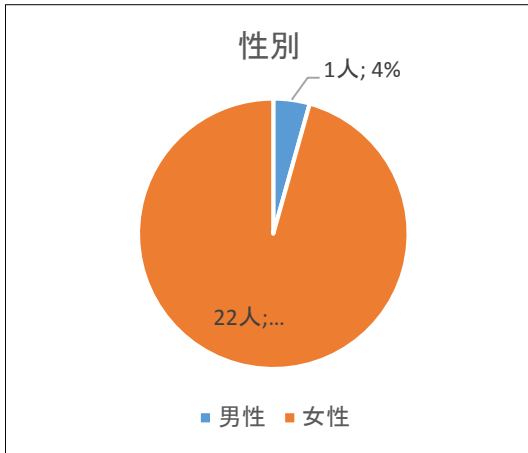
日時：令和元年5月28日(火) 10:00～11:45

場所：昭和スポーツセンター1階 会議室

内容：①寸劇「かずこおばあちゃんの縁側日記」 ～もしもの話を元気なうちから～

：②「もしバナゲーム」

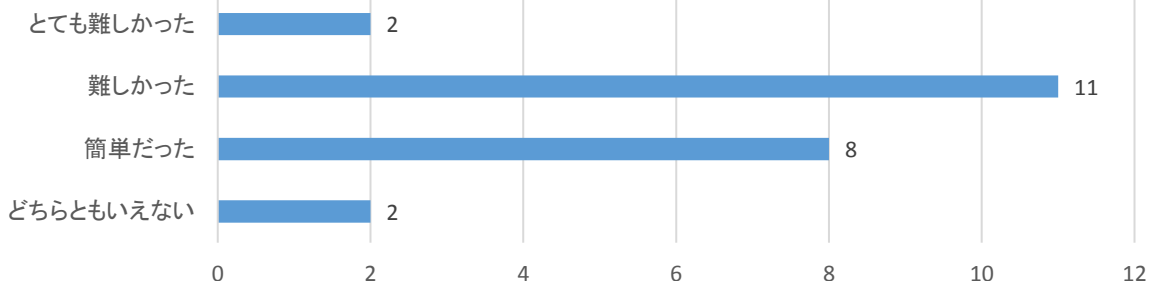
参加者：24名(アンケート回収23名 回収率96%)



(寸劇についての意見・感想)

- ・介護保険が出来た時とても安心していましたが、制度の色々な変わり方に不安ばかりでしたがこの在宅療養がこのまうまういけば不安も少しはなくなるかなと思います。
- ・医師の在宅訪問はありがたいと思います。
- ・自分に置き換えて考えさせてもらいました。まわりにいる人は大切だと思いました。
- ・あらたまって話はしていないが、考えておかなければいけないと思っています。
- ・まだ、エンディングノートは記入していないがやらなければと思っています。
- ・リアリティがあって楽しい劇でした。
- ・本人の希望を聞くことが大切。
- ・今の所考えていなかったが勉強になりました。
- ・具体的な寸劇で理解が出来ました。はち丸センターを知る事が出来た。
- ・わかりやすく、これからを考えさせられました。
- ・環境に類似点はあるが、友人、ケア関係者の人は(ペットも)自分自身にあるのか。1人になる日は時間の問題なので、相談できる人を見つけたい。
- ・自分の身近に感じた。
- ・体調がかずさんと同じ様な状況ですのでいろいろと参考になりました。
- ・いきいき支援センターを利用させていただいております。とても感謝しております。

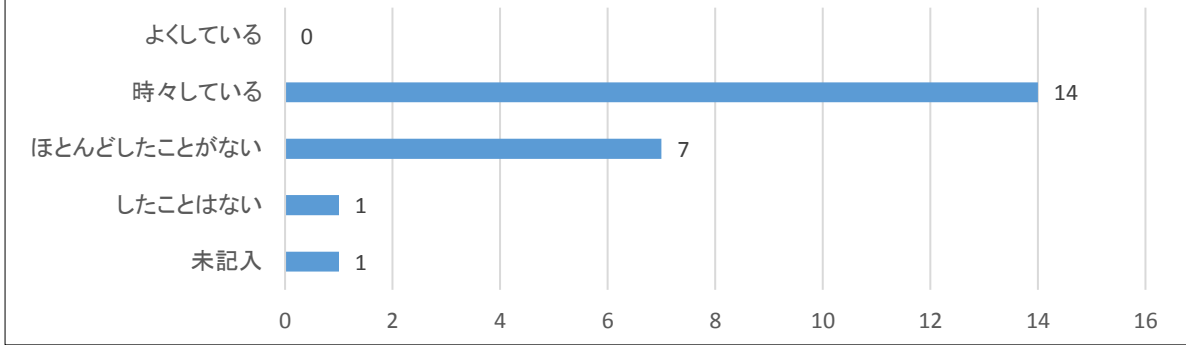
Q2. もしバナゲームについて



(もしバナゲームについての意見・感想)

- ・もしもはいつくるか分かりませんがその時に備える気持ち、大切にしたいと思います。
- ・ゲームにより自分の生き方、終末のことを考えるようになった。
- ・何を選ぶかが難しい。
- ・母の事を今考えていますが(良く話しています)自分の事はまだ実感していないのであらためて考えさせられました。
- ・あまり考えないで生活しているが。
- ・色々考えさせられる週末の問題でした。
- ・ゲーム自体は簡単であったが終了後の自分の意見を言うのに対して少し抵抗があった。
- ・色々な言葉が有りましたね。
- ・選ぶのが難しかった。周りの様子によって変わると思う。

Q3. もしもの時の話について



(その他自由記載)

- ・母の事に対して話はしています。自分も一緒かな？
- ・子供達と時々話をしたい
- ・主人や子供と話しているけれど、いざその時になるとどうなるか？
- ・夫婦では少しあるが息子は全然関心をもってくれない。話し合いがないので工夫しなくては。